

グループ紹介

山歩き同好会「茨木周山会」



平成7年（1995年）、茨木市立郡山公民館の文化講座の一つとして、文化財を訪ね歩く講座ができました。茨木市内や京阪神の神社仏閣、名所旧跡を巡ってそれらの歴史を学習し、周辺も歩いてみるという講座です。修了後、そのメンバーでハイキングや山歩きの同好会を作ろうという話になり、「茨木周山会」ができました。現在では、近畿一円の花々はもちろん、南アルプスや北アルプスなどに出かけて、3,000メートル級の山にも登っています。

スタート当初、メンバーは郡山団地の住民だけでしたが、今では茨木市内はもとより、市外にも友達の輪が広がり、経験の浅いメンバーからベテランまで60人近い人数になっています（女性が8割です）。

定例会は、毎月4回で、土曜日もしくは日曜日に実施しています。歩くコースは体力に応じて、初級から中級まで設け、登山計画書（実施日時、コース、集合場所などを記載）を作りメンバーに配布しています。メンバーは、それを見て各自出欠を判断し、参加できる場合は集合場所に行きます。最近では温泉ブームということで、下山道の近くに温泉があれば立ち寄り、汗を流しています。昨今、登山者の遭難が度々ニュースで報じられていますが、60歳代が中心の当会は「無理せず安全で楽しい山歩き」をモットーに、四季折々の自然を楽しみながら歩いています。

山歩きのお好きな方、ご一緒しませんか。
連絡先 周川 章 643-5696 (TEL・FAX)



茨木交流倶楽部「花咲かせ隊」



阪急本町商店街へ行かれたら、本町お客様駐輪場をちょっとのぞいてみてください。フェンス際の細長い花壇に咲いている、色とりどりの季節の花があなたにほほえみかけてくれると思います。そこが、ボランティアグループ「花咲かせ隊」の活動の拠点であり原点でもあります。

この活動は、茨木市を住みよいまちに、市街地をより活性化したまちにしたいと願う自主グループの発想から始まりました。現在、20人のメンバーで、この駐輪場のほかに、阪急本通商店街東側交差点近くの2つの花壇の世話と、その周辺道路のゴミ拾いや清掃などを行っています。夏の水やりなど大変なときもありますが、時折、見知らぬ人からいただく「ご苦労さま!」「きれいね」のひと声が、とても大きな励みになっています。そんなメンバーの努力が実って、大阪府や茨木市から表彰を受けました。また、他市からの現地視察もありました。こうしてまちづくりの輪が広がっていくことは、とてもうれしいことです。

私たちは、年に数回、活動に関する勉強会や親睦会を行っています。そのうち1回は少し遠出をします。今年1月には、なばなの里で花やイルミネーションを、御在所岳では樹氷を楽しみ、親睦を深めました。

現在、毎月第2火曜日の午前、花壇を整備した後、近くのにぎわい亭でミーティングを行っています。花が好きな方、ぜひご連絡ください。

連絡先 佐藤 626-2278 (TEL)



市民インタビュー

第43回

この人に会いたくて

音を楽しむ芸術家
さいとう まい か
齊藤 舞歌さん

小学生の頃、フルートの音色に惹かれた齊藤さんは、フルート奏者になる夢を実現すべく、不利な条件を跳ね返し音大に入学。その後、数々のコンクールに入賞。

現在は、クリスタルフルートやミュージカルソウのコンサートも開催。「音を楽しむ芸術家」がめざす音楽とは・・・。



フルートとの出会いはいつ頃ですか。また、フルート奏者になれるまでの経緯を教えてください。

小学生の頃、テレビの音楽番組から流れるフルートの美しい音色が忘れられず、小・中学校は音楽部に入り、中学校で初めてフルートを手にしました。高校は音楽コースを選びましたが、本格的にフルートのレッスンを受けたのが高校3年生と遅く、音楽大学を受験するのには、あまりにも遅いスタートでした。先生からも「現役合格はおそらく無理だろう」と言われましたが、猛練習を重ねて重ねて、念願の音楽大学に合格することができました。

入学後も、「君は入ってからが大変だよ」と言われましたが、そのことがバネになり、朝晩の猛練習を繰り返した結果、コンクールで賞をいただけるまでになりました。

「齊藤は努力の人やなあ」と言ってくださった先生は、今も私の目標とするところです。

その後、大学院に進学。アンサンブルの楽しさに目覚めて、フルートアンサンブル「パステル」を結成し、数々の賞を受けることができました。大学院修了後は、各地でさまざまな演奏活動を行い、後進の指導にもあたっています。

フルートとはどんな楽器ですか。

フルートは金属でできていますが、木管楽器に分類されます。もともとは、すべて木で作られていたのですが、改良を重ねるうちに加工しやすい金属が主流になったのです。バロック時代にはフルートと言えバリコーダーのことでした。現在のキィ装置を備えたものができたのは、約200年ほど前で、ドイツ人演奏家によって確立されました。

現在、私はクリスタルフルートという楽器での演奏活動も行っています。この楽器は、硬質ガラスでできていて、表面に花や葉の美しい絵柄が施されています。フルートとの大きな違いはキィ装置がないことです。半音はリコーダーのように指で穴を半分塞ぐことによって作っています。そのため、演奏できる調や曲に多少の制限はありますが、特訓次第では克服できるかもしれませんね。

フルートが主役の曲をいくつか教えてください。

有名な曲は、ビゼーの『アルルの女』の「メヌエット」で

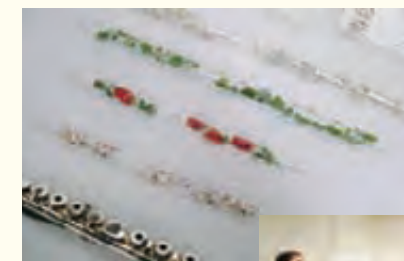
しょうか。

『ピーターと狼』や『動物の謝肉祭』の「鳥かご」のように、フルートが大活躍する曲がありますが、私はモーツァルトの『フルートとハープのための協奏曲ハ長調』が好きです。この曲の演奏を、平成23年（2011年）10月に茨木市内で行う予定ですので、楽しみにしててください。ハープもすてきな演奏者が来られますよ。

齊藤さんが目指しておられることはどんなことですか。

現在、フルート奏者として、学校やホールなどでのソロ活動やオーケストラ、アンサンブルでの活動のほか、先ほど紹介したクリスタルフルートによるオーケストラ活動、また、ミュージカルソウ（西洋のこぎり）のソロ・アンサンブル活動も始めています（今年8月にアメリカで行われたミュージカルソウ世界大会で準優勝しました）。「おまえは～あほか～」で有名なこぎりが、こんなにすばらしい音色を奏でるなんて思ってもみませんでした。

私が複数の楽器を演奏することについて、「あなたはフルート奏者なの？のこぎり奏者なの？」と聞かれるのですが、私は、楽器はあくまで手段だと思うんです。自分が創りたい音楽をそのときに必要な筆を使って描く。私はフルート奏者だけでなく、音を楽しむ音楽家でありたいし、芸術家でありたいのです。そんな私の演奏を楽しんでくださる方がいらしたら、それが最高！音楽はどんなときでも、聴いてくださる方がいらして初めて芸術になるのですから・・・。



クリスタルフルート
(中央の4本)



浴衣でのクリスタルフルート演奏会